

【外国語・中1「Unit 6 Cheer Up, Tina」①】

育成を目指す資質・能力

<本時のねらい>

学校の先生が日常生活で行うことについてクイズ形式で聞いたり話したりする活動を通して、三人称単数現在の表現の定着を図り、自分の家族の一人について紹介する文を書いて、相手に伝えることができるようにする。

ICT活用のポイント

- 効果的な視覚的支援
- 生徒の関心・意欲の喚起
- 「書く力」を伸ばすための個別最適な学習

つかむ

- ・ALTの「身近な人物紹介」を聞き、単元の課題を確認する。

単元の課題
身近にいるすてきな人について、
ALTに紹介する文章を書こう。

追究する

- ・教科書本文の内容を復習しながら、人物紹介に必要な表現を確認する。
- ・ペアになり、「Who is the teacher?クイズ」に取り組む。

まとめる

- ・自分の家族の一人について紹介する文を書き、友達に伝える。

事例の概要

- グループ内の友達や学校の先生が日常生活で行うことについて、聞いたり話したりする活動を通して、三人称単数現在の表現の定着を図る。
- 音声で慣れ親しんだ表現を用いて、自分の家族の一人について紹介する英文を自力で書けるようにする。

事例におけるICT活用の中心場面

【事例におけるICT活用の場面①】

- デジタル教科書を大型モニタに提示しながら、本文の音読練習や場面絵についてのQ & Aをする中で、本時の活動に必要な表現を確認していく。

【事例におけるICT活用の場面②】

- 教師が事前に作成したヒントカードを学習支援ソフトで生徒と共有し、生徒がそのヒントカードを提示しながら、ペアで「先生を当てるクイズ」を進める中で、楽しみながら三人称単数現在の表現の習得をしていく。

【事例におけるICT活用の場面③】

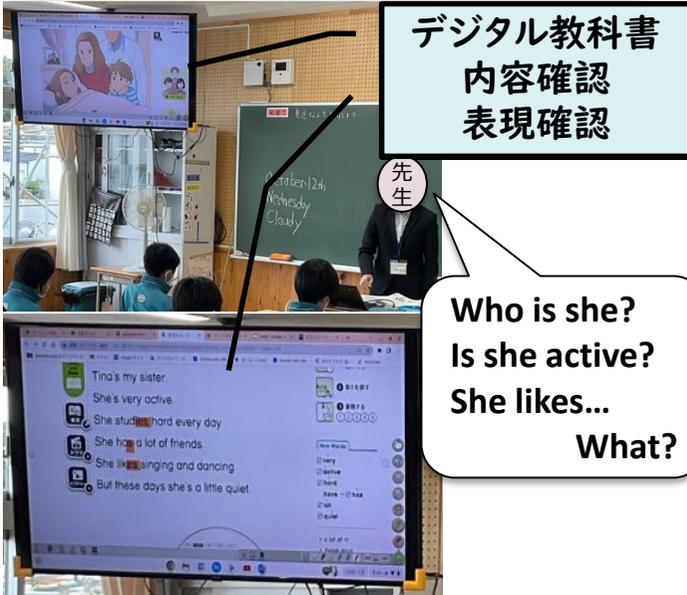
- 翻訳機能を使い、正しい英文が書けているかどうかを生徒自身が確認しながら紹介文を完成させる。

【外国語・中1「Unit 6 Cheer Up, Tina」】②

【事例におけるICT活用の場面①】

視覚的支援

教科書本文の内容を復習しながら、人物紹介に必要な表現を確認する。



デジタル教科書
内容確認
表現確認

先生

Who is she?
Is she active?
She likes...
What?

デジタル教科書の場面絵について教師の質問に生徒が答えながら内容を確認しています。

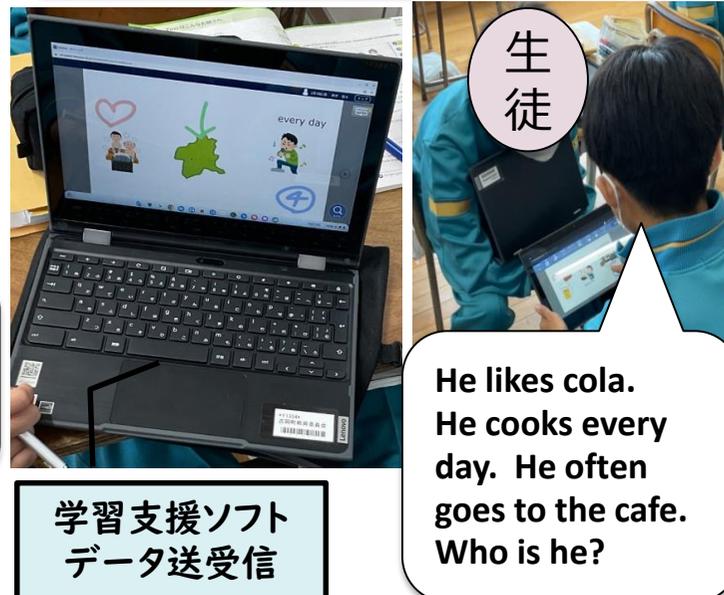
本文音読の際には、三人称単数現在を示す部分に色をつけて、生徒に意識させていました。

視覚的な支援があるので、スムーズに内容や文法事項の確認ができていました。

【事例におけるICT活用の場面②】

関心・意欲の喚起

確認した表現を用いて、ヒントカードの絵について相手に伝えながら、「先生当てクイズ」に取り組む。



生徒

He likes cola.
He cooks every day. He often goes to the cafe.
Who is he?

学習支援ソフト
データ送受信

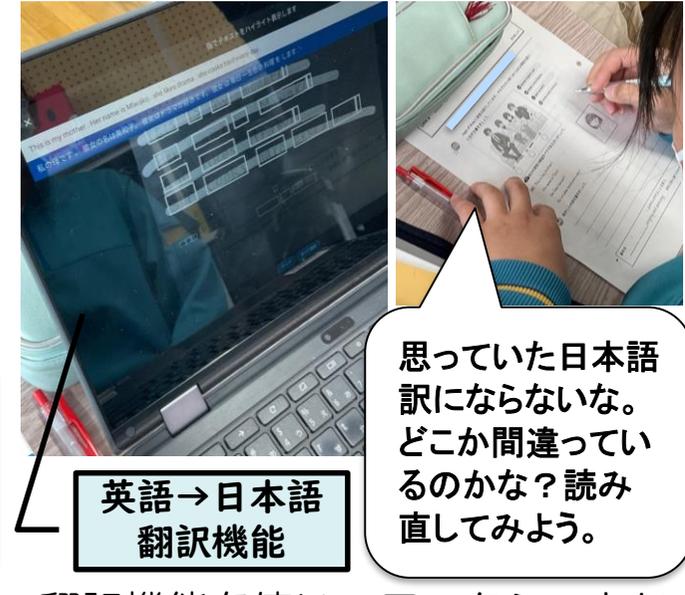
ペアになる生徒の端末にはそれぞれ別のヒントカードが送られます。イラストを見て、どんな文で相手に伝えればいいのかを考えます。

クイズを出す際には、画面をスライドさせながら、クイズ番組のように楽しそうに活動していました。

【事例におけるICT活用の場面③】

個別最適な学習

クイズをしながら言い慣れた表現を用いて、自分の家族の一人について紹介する文を書く。



英語→日本語
翻訳機能

思っていた日本語訳にならないな。どこか間違っているのかな？読み直してみよう。

翻訳機能を使い、ワークシートに書いた英文をカメラで撮ると、日本語訳が出てきます。自分が考えていた日本語訳にならなかった生徒は、間違っている部分があるか、教科書やノートを見直したり、周囲の友達に尋ねたりしながら、紹介文を書き直していました。

【活用したソフトや機能】 ○デジタル教科書 ○学習支援ソフト ○翻訳機能